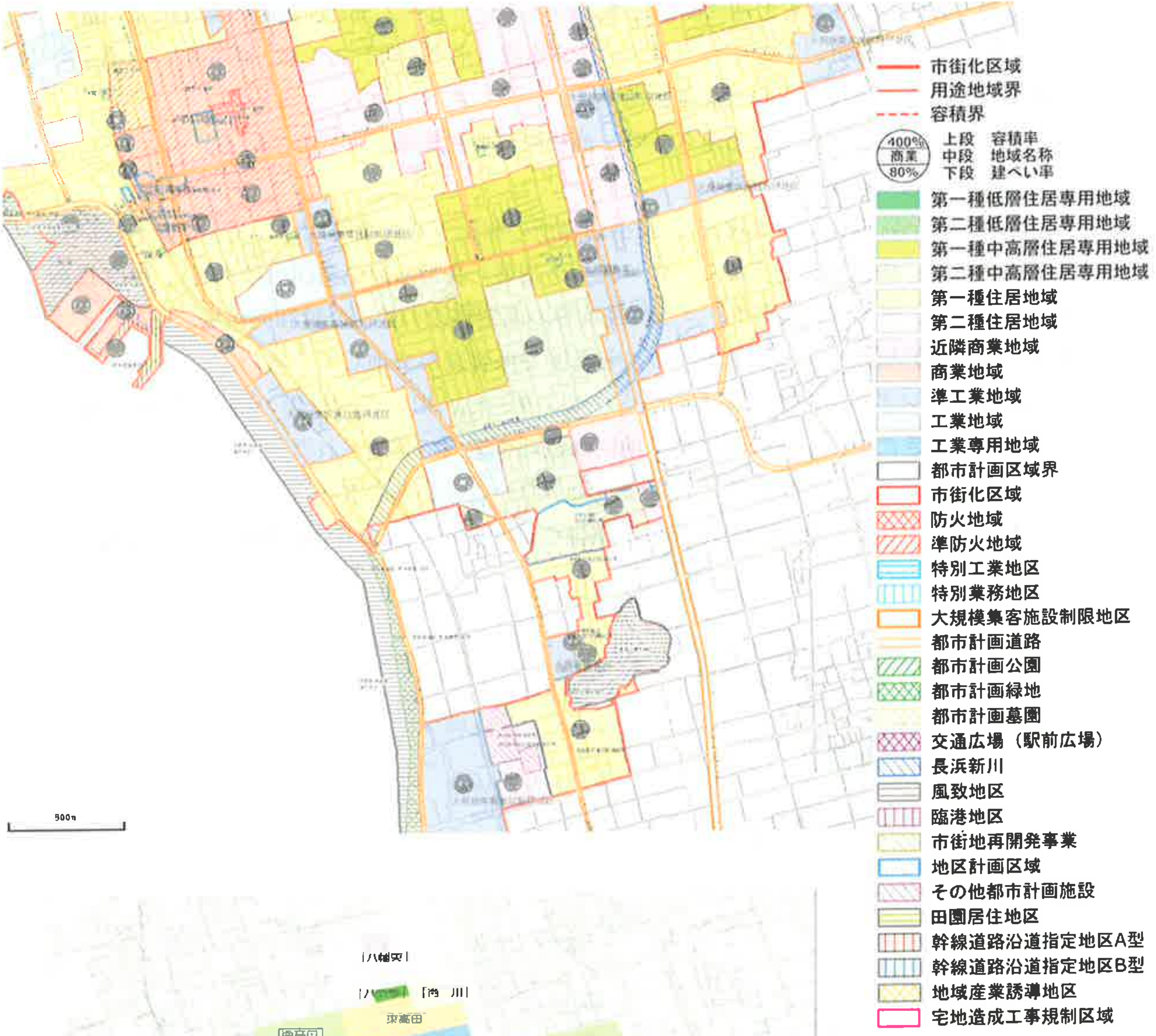
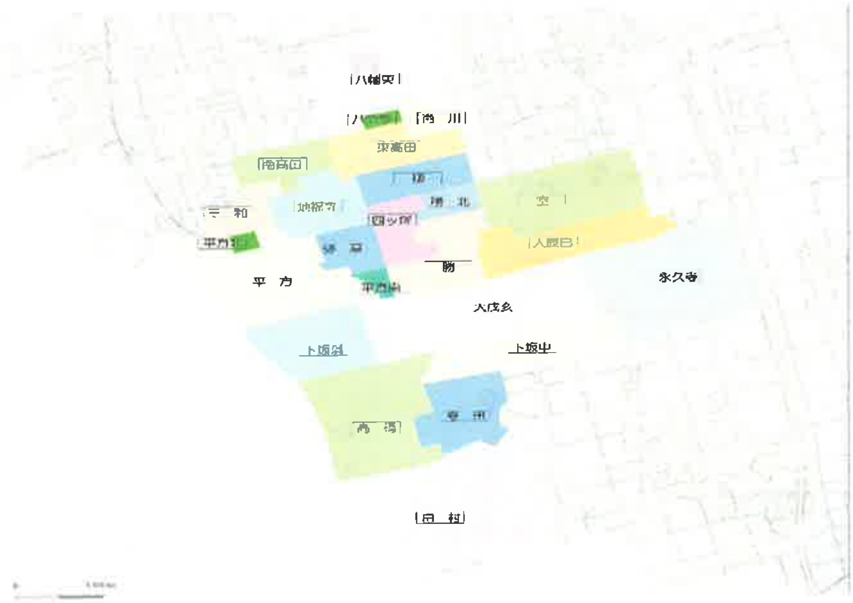
六荘地区

長浜市六荘地区は、長浜市の南部に位置する。24 の自治会で構成している。

市街化区域と市街化調整区域にまたがる区域。





六荘地区は昭和 18 年に長浜町と合併した六荘村が発祥である。

国道 8 号線バイパスの開通や市街化区域の拡大による土地区画整理事業で弥高町、平方南町、下坂浜町、大戌亥町、勝町、四ツ塚町、南高田町、東高田町で住宅地が造成されたのをはじめ、現在、室町でも土地区画整理事業がスタートした。また、民間の開発により勝北町や大辰巳町、田村町、下坂中町、マンション建設（平方北町）古くは、南川町、八幡泉町が誕生し、長浜市内では人口増加地区である。

なお、市街化調整区域である永久寺町、高橋町は農村集落を形成している。

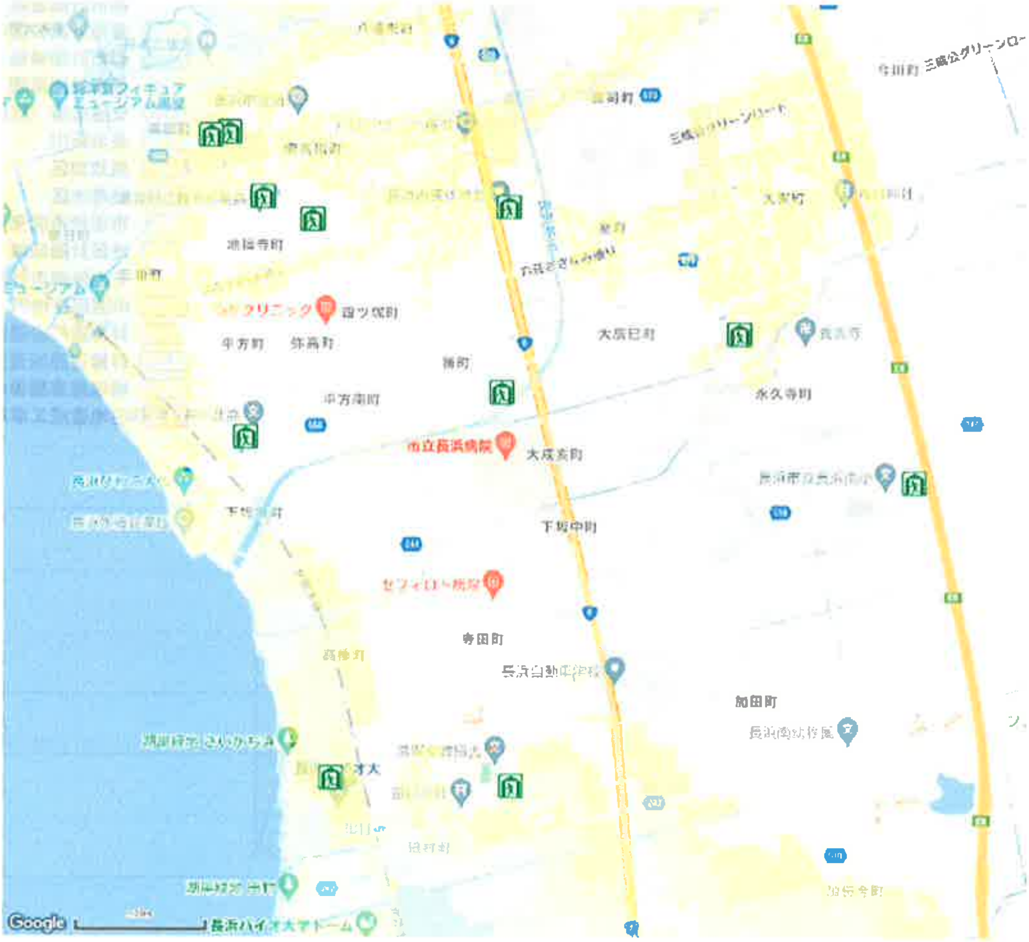
主な公共施設や商業施設では

市立長浜病院の移転（大戌亥）、長浜市役所の移転（八幡東町）や、長浜消防署、滋賀県長浜事務所、法務局長浜支部、ハローワーク長浜、長浜水道企業団（浄水場）、県立長浜ドームがある。また、長浜楽市、コープ長浜等の商業施設の他、公設卸売市場、長浜バイオ大学、滋賀文教短期大学、公立私立のこども園や保育園が立地している。

地区のシンボルである六荘まちづくりセンターは、旧六荘村役場の跡を六荘公民館として活用してきたが、平成 8 年に勝土地区画整理事業内で整備された。

ハザードマップでは平野部で大きな河川がないことから洪水区域は少ない。

人工河川である一級河川長浜新川が整備された。これにより市街地中心部の浸水被害が解消されている。



24 自治会の特徴は、世帯数に大きな差異がある。

自治会	世帯数	男	女	計	
八幡東	673	674	716	1,390	長浜小学校、西中学校区
南川	106	100	119	219	
八幡泉	37	26	24	50	
南高田	190	242	265	507	
東高田	520	589	650	1,239	
三和	77	65	84	149	
地福寺	454	558	525	1083	
弥高	318	356	372	728	
平方	627	709	704	1,413	
平方北	262	259	309	568	
下坂浜	190	196	149	345	
平方南	203	251	241	492	
柳	305	351	363	714	
四ツ塚	364	419	449	868	
勝北	176	204	215	419	
勝	428	494	488	982	長浜南小学校、南中学校区
大辰巳	226	248	234	482	
室	282	354	391	745	
永久寺	87	116	117	233	
大戌亥	351	429	426	855	
下坂中	103	145	171	316	
寺田	54	67	74	141	
田村	169	212	230	442	
高橋	56	83	91	174	

2022年3月1日長浜市データ　6258世帯　14544人（市　46446世帯　115286人）

世帯数で市の１３．５％、人口で１２．６％を占めている。

2010年国勢調査　5671世帯　13754人　（市　43015世帯　124131人）

増加率　10.3%世帯数　5.7%人口

市全体では、人口減少している中で、増加地区である。

勤労世帯が多いので、日中の在宅率は低い。

子どもの数は市内で最も多い。子育て中の方が多い。

高齢者の単身世帯や高齢者世帯の数は２０％ある。率は市平均以下だが、ボリュームは多い。　今後介護サービス等の利用者が急増する。

六荘地区の活動団体

六荘地区地域づくり協議会　平成20年11月設立

六荘連合自治会が設立母体

趣旨

自治会は、みんなで決めたルールにのっとってお互いに助け合い支え合う、地域を基盤とした住民組織の一つです。また自治会同士の連携機関が連合自治会です。地協は、①多様な団体から構成されていることから、地域の魅力づくりに向けて専門的な知識や技術で取り組むことができる、②役員や構成員が一定期間変わらないことで活動の持続性がある、③自治体の枠を超えて取り組みを広げることができます。

地協ってなあに

・地域の特性や課題を住民が共有できるようにします。
・魅力ある地域づくりに取り組みます。
・住民の暮らしを支える新たな公共サービスの担い手をつくります。
・住民の社会貢献活動や生きがいをつくります。
・地域住民の交流(コミュニティ)の場を提供します。

地協が必要な理由

地域ごとの課題(集落の人口減少、高齢化、核家族化、コミュニティの希薄化、地縁団体の機能低下など)を解決し、魅力あるまちづくりを進めるには、地域のあらゆる人や団体が一体となった活動や取り組みが必要です。その核となる組織が地協です。

長浜新川

長浜土木事務所では、昭和 49 年（1974 年）から長浜市内の浸水被害を軽減するため、長浜新川の改修を進めてきました。

平成 17 年 6 月、川崎町の長浜北高校前の市道の橋（川崎南大橋）の新設工事と河川の掘削工事が完了し、琵琶湖から山階町までの約 4km（「右支川」と呼んでいます。）が通水することが出来ました。この長浜新川（右支川）は、市内を流れる薬師堂川、十一川、米川等の河川の洪水を国道 8 号より上流側でカットし、琵琶湖に放流する新たな河川（放水路）です。右支川の通水により長浜市内の河川は、概ね 10 年に 1 回程度発生する降雨（時間雨量約 50 ミリ）による出水に対しても安全に流すことができるようになりました。これに伴って、長浜市内の浸水被害が大幅に軽減されるとともに、琵琶湖環状線の開通等に伴ってますます発展が見込まれる市域の健全な発展に寄与することができます。

長浜新川は現在、地域の方々に広く利用していただけるように親水階段や石畳張り、新川遊歩道などが整備されています。また、地域住民による「新川クリーンアップ」として草刈りやゴミ拾い活動や新川遊歩道を利用した「新川健康ウォーク」などを行っています。六荘地区地域づくり協議会では、少子高齢化が進む現在、中高齢者方々の健康志向の高まりに合わせウォーキングやジョギングなどの利用ニーズが増えてきています。このような状況に対応して中長期計画として健康遊具やトレーニングにも使用できる場を設け、小さな子供から高齢者までの広い年齢層のニーズ応える整備に取り組んでいます。

長浜新川景色

健康遊具背のばしベンチ

芝桜の植栽

つつじの植栽

新川クリーンアップ作戦

ノルディックウォークの様子

県によるひつじの放牧

地域の将来像

Ｉ 人ひとりが共に楽しく、明るく喜びを重ねるまち西黒田

計画の実施期間　2019 年～2028 年

西黒田の特徴

（１）西黒田のベスト５（西黒田の魅力・自慢できるところ）

① 金太郎伝説や後鳥羽上皇ゆかりの地名、神社等豊かな歴史

② 地域としてのまとまりがある。

③ 地区内に開業医院は無いが近隣（３Km 以内）に３つの開業医院、１つの病院があり、２つの総合病院も７．４Km 以内（小一条町から日赤まで）にある。

④ 地区内に県立長浜農業高等学校、近隣に滋賀文教短期大学、長浜バイオ大学の専門教育機関がある。

⑤ JR 北陸線田村駅まで５．３Km（八条町から）、長浜駅まで７．８Km（小一条町から）、新幹線のターミナルでもある米原駅まで９．４Km（八条町から）、北陸自動車道長浜インターまで８．０Km（小一条町から）、米原インターまで９．７Km（八条町から）と交通の利便性が高い。

（２）西黒田のワースト５　なんとかせなあかんところ（西黒田の問題点・課題）

① 地域内の稲作中心農業では、生計が維持できず農業後継者がいない。近隣に若者の働く場所が少ない。

② 地区内に開業医院が無い。

③ 高齢者等の交通弱者の交通手段がなく、買い物、通院が不便。また、冬場の除雪対応が充分でない。

④ 金太郎伝説、後鳥羽上皇のゆかりの地や名超寺、李軒邸等の由緒ある建物の存在価値を充分理解できていない。

⑤ 地域の特産品がない。里山の整備ができていない。子どもの遊び場がない。

西黒田地域づくり計画書 第２次 10 ヶ年計画

部会活動

活動目標と部会事業

私たちの事業の進め方（西黒田ふるさと振興会議）

（１）実行委員会方式（実行組織）

①金太郎相撲大会実行委員会　②福祉の日実行委員会

③防災フェア実行委員会　④金太郎運動会実行委員会

⑤ふれあい文化祭実行委員会

（２）専門部会（企画会議）

①安全環境部会　②体育文化部会

③青少年健全育成部会　④地区社協部会

（３）拡大会議

（既存）①企画運営委員会（通常、拡大）

②体育事業三者会議（ソフトバレーボール）

③人権学習協議会三者合同会議

（新規）円卓会議

①地域課題会議　②広報広聴会議

（４）総会、理事会

（最終決定会議）

西黒田ふるさと振興会議のミッション（11 自治会の枠を超えた広域住民自治組織）

（１）地区内１１自治会の顔の見える関係を維持拡大していくこと。

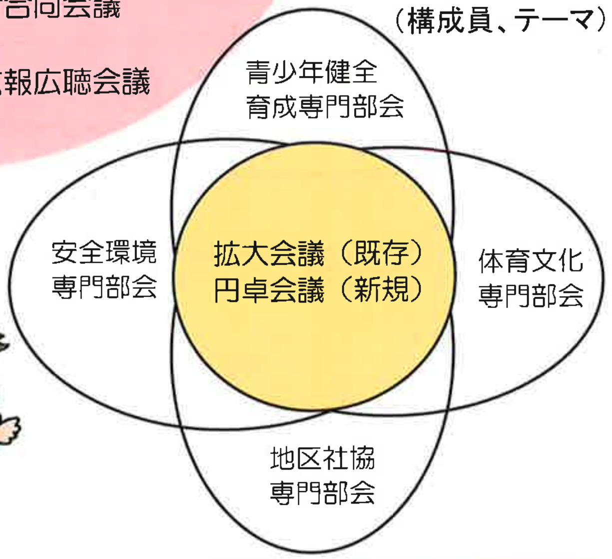
（２）自助、共助の具体的事例を学び、実践していくこと。

（３）西黒田地域の魅力を内外へ情報発信していくこと。

（４）行政、近隣・隣接する地域づくり協議会や NPO、南長浜地域のまちづくりを考える会等々の関係機関・団体と協調・連携し、西黒田地域の振興に努めていくこと。

拡大会議のイメージ

（構成員、テーマ）



（１）地区社会福祉協議会部会

活動目標

・支えあい安心して暮らせる地域づくり活動

・子どもから高齢者までつながりあえる関係づくり活動

・西黒田の特色を活かした地域づくり活動

活動内容

①支えあう安心して暮らせる地域づくり

②サロン交流活動の充実

③将来を担う子どもたちの健全育成の推進

④誰もが交流できる場づくりを推進

⑤西黒田の特色を活かした地域づくり

⑥心身ともに健康づくりの推進

⑦空き家を活用した居場所づくり

（２）安全環境部会

活動目標

・子どもたちが安心して学び遊べる地域づくりの活動

・みんなが安全に暮らすことができる地域づくりの活動

・豊かな水とみどりの地域景観を守り育てる活動

活動内容

①児童「見送り隊」「出迎え隊」への支援

②クリーン大作戦を実施する

③案全・防災マップづくり

④交通危険箇所の改善

⑤災害に即応できるひとづくり

⑥防犯活動の実施

（３）体育文化部会

活動目標

・健康と体力を保ち育むためのスポーツの普及活動

・体育、文化行事を通じてふれあい交流を深める活動

・歴史ある伝統文化の継承や新たな文化を育成する活動

活動内容

①スポーツ事業の実施

②文化事業の実施

③伝統文化の承継

（４）青少年健全育成部会

活動目標

・夢や目標を持ち、それに向かって努力する子供を育てる活動

・自然や人々に感謝の心でふれあう子供を育てる活動

・西黒田に誇りを持ち、地域に貢献する子供を育てる活動

活動内容

①子育て支援活動

②子育て啓発活動

③子育て見守り活動

④心でふれあう活動

⑤地域を発見する活動

（５）地域課題会議

地域課題

・西黒田地区内の農用地保全

・土川の排水対策

・県立長浜農業高校生の登下校の安全確保(県道243号線(東上坂・近江線))

・南小・南中・農高生の登下校時の防犯対策

・金太郎伝説、後鳥羽上皇等ゆかりの地の整備

・ウオーキング、サイクリングコースの整備

・西黒田地区防災会設立

活動内容

①地域課題会議の設立、開催の定例化

②金太郎マクワ、鳴門金時の栽培

③金太郎サポート事業の充実

④横山・七岡花木植栽事業の研究

（６）広報広聴会議

活動目標

・内外への情報発信の充実

・住民の意見の収集の充実

・SNS の活用

活動内容

①広報・広聴委員会の創設②西黒田ふれあいだより（紙媒体）の編集、発行

長浜市公共施設指定管理施設

西黒田まちづくりセンター

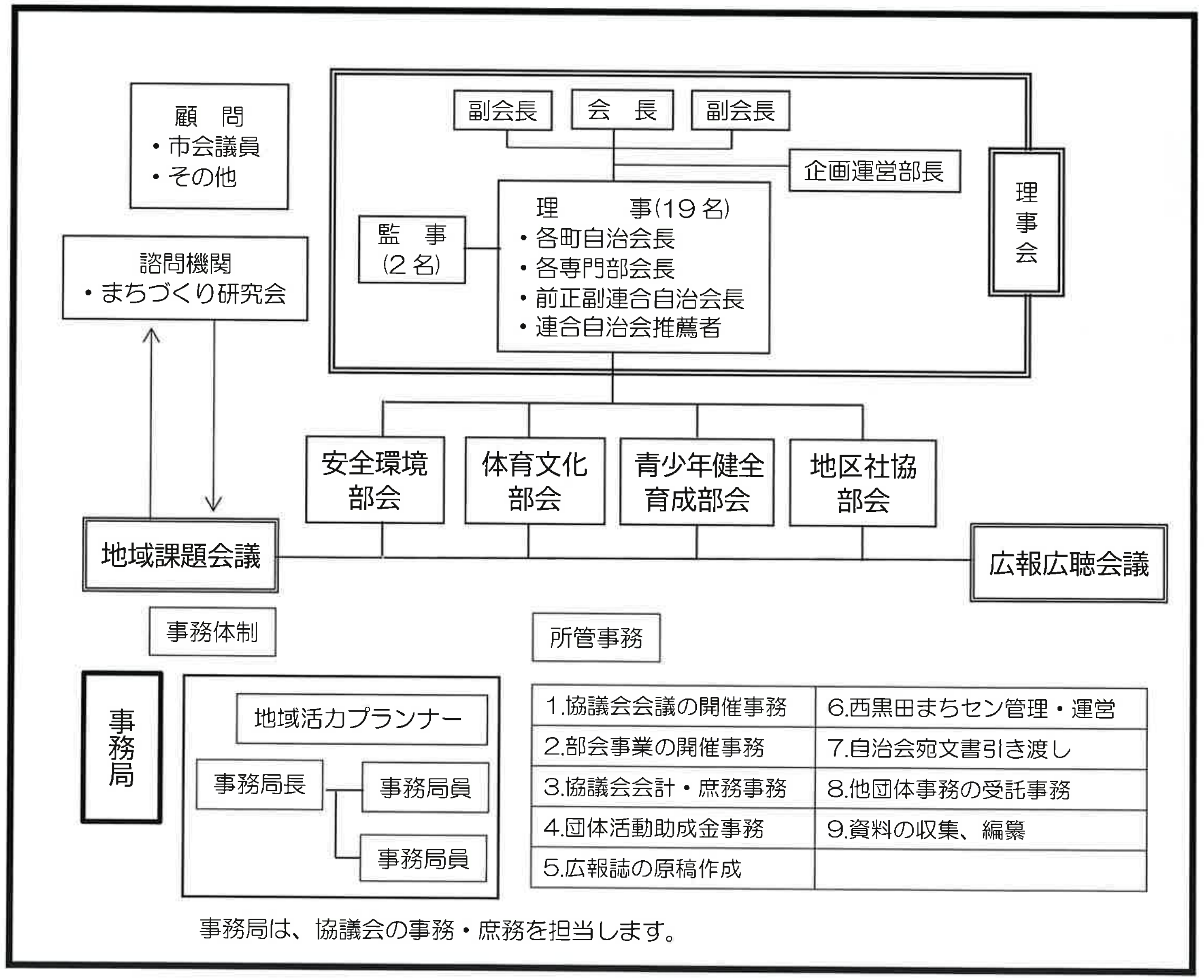
【施設の概要】
所在地：長浜市常喜町500番地１
（構造）鉄骨造り平屋建て（敷地面積） 4,065.95㎡
（建築面積） 794.34㎡ （延床面積） 749.93㎡
（1）ホール 194.48㎡ （2）会議室１ 27.77㎡
（3）会議室2 29.85㎡ （4）研修室 33.38㎡
（5）和室１ 15.47㎡ （6） 和室2 15.47㎡

生涯学習と地域コミュニティ活動の拠点施設です。

住民による地域課題の学習と解決への活動を支援します。

西黒田ふるさと振興会議の活動拠点で事務局を設置します。

西黒田ふるさと振興会議　組織体制図



『金太郎の里　西黒田』地域づくり計画書

第２期　10ヶ年計画

2019年～2028年

概要版

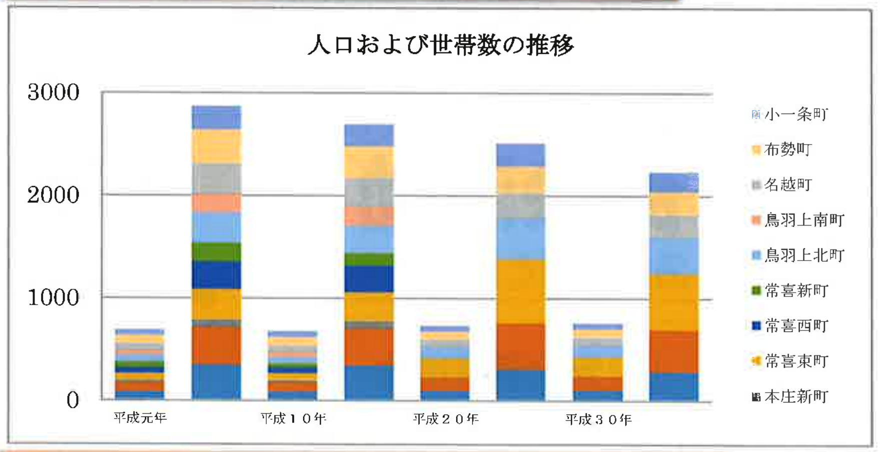
はじめに

誰にとっても故郷はかけがいのないものです。そして、それは、私たちの先人がその時々の社会や時代が大きく変化する中にあっても、この地を慈しみ、少しでも住み良くするために（物質的にも、精神的にも）、知恵を絞り、手を加えて来られたからこそ、今の私たちの生活があります。私たちには、それを次の世代に上手に引き渡していく義務があるように思います。

西黒田の現状

● 人口は30年間で640人減少
世帯数は、67増加

（H 元年）688世帯　2，867人
（H10年）674世帯　2，694人
（H20年）728世帯　2，506人



（H30年4月1日現在）
① 八条町 105世帯 284人
② 本庄町 101世帯 312人
③ 本庄新町 29世帯 96人
④ 常喜東町 68世帯 216人
⑤ 常喜西町 73世帯 205人
⑥ 常喜新町 50世帯 127人
⑦ 鳥羽上北町 73世帯 217人
⑧ 鳥羽上南町 41世帯 137人
⑨ 名越町 81世帯 228人
⑩ 布勢町 79世帯 218人
⑪ 小一条町 55世帯 187人
合計　755世帯　2，227人

● 高齢化率 32.1％（概ね３人に１人が高齢者）が、10年後には 41.7％（2.5人に１人）

● 小学校児童数の減少（西黒田地区内）

	平成17年	平成20年	平成30年
1年生	25	31	15
2年生	31	22	21
3年生	25	20	20
4年生	27	27	23
5年生	22	29	22
6年生	29	24	20
計	159	153	121
男	81	85	71
女	79	68	50

A

神田まちづくりセンター

加田東町
加田西町
加田南町
加田北町

加田今町

加田栄町

ビレッジハウス
加田新町

8自治会
人口;１１４４人
世帯数;454

B

神田山　標高　134m

★神田山
神田山公園は山腹に八坂神社があるので
登山道などがとてもよく整備されていて
山頂からは琵琶湖の絶景が広がっていました

★神田溜（かんだため）
別名豊島池とも言い江戸時代の初めに
長浜付近の幕末代官だった
豊島作右衛門忠次（としまさくえもんただつぐ）が、
この地域を干ばつの被害から救うために作ったものです。
また県内唯一の[illegible]バスの生息地です

神田まちづくりセンター